



広島オーストリア協会

会 報

No.40

平成29年4月30日発行

編集・発行／広島オーストリア協会

〒730-8552 広島市中区白島北町19番2号
広島ホームテレビ 総務局内

TEL (082) 221-4964 FAX (082) 221-4905



マリア・テレージアのご家族（ハプスブルク家）

ご 挨拶



広島オーストリア協会 会長

大 辻 茂

会員の皆様方には、平素より広島オーストリア協会の活動に、ご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年度の広島オーストリア協会は、6月に年次総会、8月には講演会とピアホールでの会、11月にはクリスマス例会、3月にはケーキと音楽を楽しむ会等のイベントで、年間を通じて多くの会員の皆様にご参加いただき、賑やかな社交の場となりました。

昨年秋に赴任されたばかりのフーベルト・ハイッス駐日大使が、11月に在広島名誉領事館を訪問され、私の名誉領事の任期延長に伴う事務手続きと一緒にさせていただきました。もちろん初めての広島訪問ですから、広島平和記念公園や広島平和記念資料館を見学して頂き、短い時間でしたが有意義なひと時を過ごして頂くことが出来ました。近いうちに皆様にご紹介させて頂けるとと思います。

今後とも広島・オーストリア間の交流が、友好の精神に基づき、ますます活発になり、会員の皆様にオーストリアをより身近に親しんでいただけるよう、活動の充実に努めて参ります。皆様方の力強いご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



- 日 時 平成28年6月6日(月) 18:00~20:00
 ■ 場 所 ANAクラウンプラザホテル広島
 ■ 出席者 77人

冒頭の挨拶で大社会長から、バルンハルド・ツィムブルグ大使が9月にオーストラリアの大使として赴任され、新しくフーベルト・ハイッス大使をお迎えすることが報告された。懇親会では、広島で活躍するブランシュ弦楽四重奏団の皆さんによるクラシック音楽が披露され、出席者はオーストラリアに縁のあるヨーロッパ音楽を楽しんだ。



平成28年度事業報告

平成28年度理事会・総会

6月6日(月) ANAクラウンプラザホテル広島(出席者:77人)

講演会・ピアホルの会

8月26日(金) シェラトングランドホテル広島(出席者:94人)

クリスマス例会

11月22日(火) リーガロイヤルホテル広島(出席者:152人)

ケーキと音楽を楽しむ会

平成29年3月11日(土) ホテルチューリッヒ東方2001
(出席者:52人)

平成29年度事業計画

平成29年度理事会・総会

5月31日(水) ANAクラウンプラザホテル広島

講演会・ピアホルの会

8月

クリスマス例会

12月

ケーキと音楽を楽しむ会

平成30年3月

平成28年度役員(平成28年6月1日現在)

役 員	氏 名	現 職
会 長	大 辻 茂	(株)広島ホームテレビ社長
副会長	小 嶋 泰 紀	(株)広島銀行取締役常務執行役員
	光 井 安 子	音楽家
	吉 原 誠	マツダ(株)総務・法務室長
専務理事	草 本 健 資	(株)広島ホームテレビ取締役総務局長
理 事	浅 井 幹 夫	(株)中国新聞社副社長
	伊 藤 裕 章	(株)広島ホームテレビ専務
	久 保 雅 史	広島エフエム放送(株)副社長
	熊 平 雅 人	(株)熊平製作所会長
	小 林 即 典	(公財)ひろしま国際センター専務理事
	小 溝 泰 義	(公財)広島平和文化センター理事長
	野 坂 文 雄	(株)もみじ銀行頭取
	畑 矢 健 治	(株)中国放送社長
	林 克 士	福山商工会議所会頭
	福 島 真 平	広島テレビ放送(株)相談役
	ヘルベルト・ピヒラー	駐日オーストラリア大使館公使
	箕 輪 幸 人	(株)テレビ新広島社長
	吉 中 康 磨	安田女子大学非常勤講師
監 事	福 森 千 岳	(株)新日放社長
	渡 部 伸 夫	中国電力(株)副社長

運営委員

役 名	氏 名	現 職
委 員	阿 部 秀 造	(株)阿部洋酒店社長
	宇 田 均	元(株)広自センター社長
	内 海 輝 雄	オフィスU代表
	亀 野 幸 一 郎	(公財)ひろしま国際センター交流部長(兼)総務課長
	小 坂 哲 也	広島国際大学教授
	上 口 雅 彦	(公財)広島平和文化センター国際交流・協力担当部長
	田 中 勝 邦	広島カナダ協会・広島県日韓親善協会理事
	中 本 圭 二	マツダ(株)総務部総務コミュニティグループマネージャー
	村 上 和 弘	(株)もみじ銀行 経営管理部部長

特別役員

役 名	氏 名	現 職
特別顧問	バルンハルド・ツィムブルグ	駐日オーストラリア大使
名誉会長	篠 原 康 次 郎	
	橋 本 宗 利	(株)広島ホームテレビ参与
顧 問	川 野 祐 二	エリザベト音楽大学学長
	岸 田 文 雄	衆議院議員
	湯 崎 英 彦	広島県知事
	深 山 英 樹	広島商工会議所連合会会頭
	松 井 一 實	広島市長

講演会・ビアホールの会

■ 日 時 平成28年8月26日(金) 18:00～20:00

■ 場 所 シェラトングランドホテル広島

■ 出席者 94人

講演は、広島国際大学 医療福祉学科教授で当協会運営委員の小坂哲也氏。16年ぶりにウィーンを訪れたオー

ストリアの魅力を、留学時代と比較しながらお話ししていただいた。又、引き続き行われた懇親会では、小坂教授が生誕 260 周年にあたるモーツァルトに因んだ曲をピアノ伴奏と共にフルートで演奏し会場を魅了した。



クリスマス例会

■ 日 時 平成28年11月22日(火)18:00～20:30

■ 場 所 リーガロイヤルホテル広島

■ 出席者 152人

■ 来 賓 インゴ・ローシュミット 商務参事官
マリア・フェルナンダー・ローシュミット 夫人

講演は、ウィーン在住43年、オーストリア公認国家ガイドのイップ常子氏。「ウィーンの宮殿で過ごしたハプスブルク家の女性たち」と題して、マリア・テレジア、マリー・アントワネット、エリーザベトなどの隠れたエピソードを話していただいた。乾杯の挨拶では、ロー

シュミット商務参事官が、日本とオーストリアの経済のつながりをより強固にすると共に、文化交流のつながりも期待していると挨拶。この後、石原有希子とマリンバエキスパートによるオーストリア音楽の夕べ、さらには恒例のクリスマスプレゼントの抽選会と会場は一つになり大いに盛り上がった。又、最後に特別企画として登場した広島ホームテレビの女性アナウンサーからぼるフェス(番組祭り)で紹介される歌とダンス(ぼるぼるダンス)が披露され、会員たちは大いにクリスマス気分を満喫した。



ケーキと音楽を楽しむ会

■ 日 時 平成29年3月11日(土)14:00～15:30

■ 場 所 ホテルチューリッヒ東方2001

■ 出席者 52人

エリザベト音楽大学卒業の山本葉子さん、桐原祐子さんによるヴォーカルとピアノの軽やかな調べで楽しんだ。

ケーキバイキングでは、バックエンモーツァルトのパティシエによるケーキショーの実演サービスがあり出席者を楽しませた。

今回はケーキ作りを勉強中の広島酔心調理製菓専門学校生徒の皆さんも参加、岡田シェフからケーキ作りのノウハウを熱心に学んでいた。



フーベルト・ハイッス大使 初来広

■ 日 時 平成28年11月14日(月)

大辻名誉領事任期延長の手続きのため在広島名誉領事館を訪問された大使は広島平和記念資料館を見学し原爆慰霊碑に花輪を捧げました。又、広島県の湯崎知

事、広島市の松井市長を表敬訪問され親睦を深めました。大使は「わが国は核問題への関心は高く、今後も廃絶の運動を全力でやるつもりだ」と語りました。



オーストリア国会壊日友好議員連盟議員団 来広

■ 日 時 平成28年4月7日(木)

オーストリア国会議員団7名がツィムブルグ大使と共に来広されました。一行は、日本の国会議員との友好を深めるため来日したもので、東京での視察を終えた後、広島を訪れたものです。まず広島平和記念資料館を見学、

慰霊碑に花輪を捧げ参拝した後、広島市長を表敬訪問されました。一行は、大辻名誉領事と昼食を共にされた後、マツダの工場や厳島神社を視察し帰国されました。



フーベルト・ハイッス大使 新任のご挨拶



長年ウィーンに勤務した後、2016年秋に駐日オーストリア大使に着任しました。東京に赴任するまでは25年間近く欧州関係に携わり、そのうち10年間オーストリアの在欧州連合代表部に勤務していました。

今度は新しい任務に就き、日本関係、オーストリアと日本の経済、政治、文化交流などに係ることができて大変嬉しく思います。

すでに広島を訪問し、市長や県知事にお会いする機会がありました。オーストリアを代表して献花を行い、慰霊碑への訪問が印象に残っています。被爆された方々の話を聞き、亡くなる前に千羽鶴を折った佐々木

貞子の人生に心を動かされました。そして広島が苦難の過去を克服し将来に希望を託したことに感銘を受けました。

広島県の運命を意識し、オーストリアは長年国際舞台において核軍縮のために戦ってきました。我々の努力がようやく報われ、3月末にニューヨークで初の核兵器を法的に禁止する条約の交渉が行われました。

オーストリアは確かに、核無き世界への道を開けて行きたいという大変大きな任務を担いました。目指す目標にたどり着くまでの道が長く、懲りずに小さな一步一步を重ねる外交は根性が必要です。

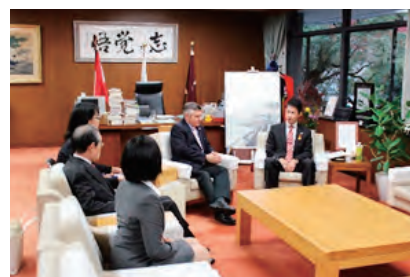
繊細さ、忍耐、器用さ、手順の知識が求められ、私の外交官という職業は千羽の小さな鶴を折ることに似ているかもしれません。結果が見えるまで、何度も何度も同じ作業を繰り返す根性、冷静さ、時間と労力が必要です。しかし巧みな技術を身に付けていれば、結果は常にきれいな、軽やか、エレガントに見えます。

交渉が開始されたことは第一歩であり、紙を整え、最初の対角線の折筋を付けた段階に例えられます。核抑止の政策に頼らない国際安全保障、有効な監視制度を確立し相互信用を構築できるまでの道のりがまだ長いと思います。

広島を訪れ、苦難の過去から勇気と将来への希望が湧くこと、焼かれた土地から素晴らしい花が咲くことを確認できました。そして今後の交渉のための信頼と勇気を得ることができました。

広島市が国際社会のための道しるべになっていることに感謝しています。そして、広島オーストリア協会にはオーストリアと日本の親善関係に貢献していることに対して御礼申し上げます。

駐日オーストリア大使として今後も日本と協力し、折鶴に願いを込めて、人類のために平和と安全な世界を築く努力を続けたいと思います。



会員寄稿

ウィーンの宮殿で過ごしたハプスブルク家の女性たち

オーストリア公認国家ガイド イップ常子



イップ常子氏

600年以上続いたハプスブルク帝国の栄光の歴史は、まさに女帝たちの女子力なしには語ることができません。ウィーンの街は現在もなお、当時の華やかさそのままに息づいています。生涯に一度は暮らしてみたいと誰もが願う、世界でも類を見ない貴族的香りを未だにとどめている都市。

今年はオーストリア全体がハプスブルク家一色に染まっています。同家の隆盛を担った皇后たちを記念する行事が至



「女帝」と言われたマリア・テレージア



マリア・テレジアのご家族

る所で開催中。その絶対的主役の1人は、16人もの子宝に恵まれたマリア・テレジアです。生誕300年を記念する盛大なお祝いムードが全国的に広がっています。

もう1人は、その美貌で有名なエリーザベト皇后。生誕180年を記念するさまざまな行事が盛り沢山。オーストリアの人々は、古き良き時代の皇后たちに思いを寄せながら、彼女たちの偉大さに改めて讃美の意を表しています。

昨年、広島オーストリア協会主催のクリスマス例会で講演させていただき、ハプスブルク家の女性たちにも触れまし



エリーザベト皇后のご家族

た。ここに集約いたします。

オーストリア歴史上の名君は誰かと問われたら、マリア・テレジアと答える人も多いはず。同国家隆盛に抜群の力量を発揮した「女帝」。夫をしのぐ政治家として、その外交

術は後世に語りつがれるほどの圧倒的な力業を発揮します。加えて、ひとりの、人間として、妻として、母として、生き抜いた女性です。お腹を休ませる暇もなく毎年のように子供を宿しながら、一国の領土を守護し拡大するため、争乱のヨーロッパにあって戦略家としての手腕を発揮。兵学校創立、学校制度の全国普



ハンガリー女王としてのエリーザベト

及など、先見の明も見事です。夫をこよなく愛し、また16人もの子供たち一人ひとりに心寄せながら家族中心主義を貫く。ちなみにマリー・アントワネットはマリア・テレジアの15番目の子女です。国母として親しまれた彼女の生きざまは、幸せな結婚生活を続けながらも自立して働く女性のモデルケースとして、現代もお多くの女性たちからも憧憬のまなざしで見守られています。

一方、シシの愛称で呼ばれるエリーザベトは、16歳でオーストリア皇后に。波乱万丈の人生の始まりです。彼女の生涯は映画やミュージカルなどで多くの日本人にも知られ、「悲劇の女王」と言う言葉がつきまといます。4人の子供に恵まれながら、自ら育てることも義母ゾフィーによって許されず、宮廷生活から逃避しつづけることに。生まれながらにして快活で美貌だった彼女は、若さと美しさを保つために膨大な出費を重ねます。ちなみに身長172cm、ウエスト50cm、体重50kgだったそうですから、かなり過酷なダイエット法を駆使したのでしょうね。南ドイツの美しすぎる山のほとり、湖のそばで幼少から自然を愛した彼女には、権威とか、儀礼などが支配する宮廷生活など嫌気がさすのみ。晩年のルドルフ皇太子のピストル心中事件や自らジュネーブ・レマン湖のほとりで暗殺に遭うなど61歳の生涯を閉じるまで悲劇の連続でした。

与えられた境遇を生かすも殺すも本人次第。またどんな人生を選ぶかどうか本人次第。どのような環境にあっても、幸せな日々を過ごすための知恵や才覚は、自らが思慮深く切り開いていくべきものなのでしょうか。

編集後記

昨年赴任されたばかりのハイッス大使が、広島を訪問されました。真っ先に訪れたのが広島平和記念公園と広島平和記念資料館でした。私も事務局員として同行し、被爆の惨状を伝える遺品の数々を目の当たりにされる大使を取材させて頂きました。被爆者の話を聞き、亡くなる前に千羽鶴を折った佐々木貞子さんの人生に心を動かされたと大使は言います。又、広島が苦難の過去を克服し将来に希望を託したことに感銘を受けたとも言われました。オーストリアは被爆国ではありませんが、国を挙げて長年にわたり核軍縮に取り組んでいる国です。核兵器廃絶に向けて世界が動き始めているのも、実はオーストリアの働きが大きいのです。広島オーストリア協会が日澳両国の経済の発展と文化交流と親睦のつながりになっていくことはもちろんですが、今後、世界平和への架け橋になる存在になればとも強く思いました。

(事務局 野崎賢治 記)